

株式会社coly 第11期 定時株主総会 事前質問 質疑応答要旨

本要旨は、第11期定時株主総会の事前質問において、株主の皆様からいただいたご質問及び弊社からの回答をまとめたものになります。なお、弊社より適宜加筆・修正を加えております。

Q1: colyIDについて、仕組みと進捗を教えてください。

A1: colyIDは、ゲーム課金をアプリ経由ではなく、Web上でアイテムを購入いただき、アプリに連携するシステムとなります。通常のアプリ内での課金では、Apple/Googleに売上の30%のプラットフォーム手数料を支払わなければなりません。Webでアイテムを購入いただきアプリに連携することで、従来のプラットフォーム手数料は発生いたしません。

プラットフォーム使用料の代わりに、ユーザー様へのポイント還元として最大7.5%、そのほかクレジットカード手数料などが発生しますが、プラットフォーム手数料と比較するとコストを圧縮することが可能となります。

coly IDは、売上を伸ばすためというよりは、利益率を改善するための施策であり、また、ユーザー様にとってもポイントを貯め、それをアイテム購入に使えるほか、coly ID限定のお得なアイテムセットもご用意しており、大変好評をいただいております。

一方で当社としては、コストの圧縮に加えて、ユーザー様の情報が取得可能となるため、将来的にはユーザー様の行動の分析などにも活用できると考えております。

colyIDは、ユーザー様にとっても、当社にとってもWinWinの結果をもたらすサービスになると確信しており、今後coly ID経由のアイテム販売比率を向上させていきたいと考えております。

申し訳ございませんが、移行比率、目標値に関しては非開示とさせていただいておりますが、進捗は想定よりも大幅に上を行っていることはお伝えさせていただきます。

Q2: 大手エンタメ企業との協業案件の進捗を教えてください。2026年1月期中に本当にリリースできるのか。

A2: 現在、鋭意開発中であり、2026年1月期中の発売から変更はございません。

同タイトルについて、詳細は契約上お伝えすることができませんが、当社の得意領域である、女性向けタイトルとなります。

当社の中でも大型タイトルであり、業績に与える影響は大きいといえます。

ゲーム・メディア双方で様々な施策を準備し、当社の柱となり、早期に利益化できるよう準備を進めております。

詳細は、決まり次第発表いたしますので、今しばらくお待ちください。

Q3: 2026年1月期の見通しを教えてください。黒字化は見えているのか。

A3: 26年1月期の業績予想については、大変申し訳ありませんが、本日の段階では非開示とさせていただきます。

ですが、大卒の業績の見通しについてお話しできればと思います。

『スタンドマイヒーローズ』や『魔法使いの約束』『ブレイクマイケース』などの、運営中のIPについてはゲーム・メディアともに黒字の見込みです。そこに、2026年1月期リリース予定である大手エンターテインメント企業様との協業案件の開発費用が乗ってまいります。これらの合計では、黒字となる見込みです。

一方、変動可能性が大きい要素としましては、大手エンタメ企業様との協業案件のリリース後の収益、そのほか未発表作品の収益については、現段階での予測が難しく、変動要素が大きいと考えております。

当社は成長過程の企業であり、成長のためには状況を見ながら機動的な投資を行っていくことが必要不可欠だと考えております。

2026年1月期においても、必要に応じて投資判断を実施することを想定しております。

現在は今後の飛躍のための準備期間であり、早期に利益体制を構築することで株主様にも還元していきたいと考えております。

また、詳細な数値、業績予想につきましては、開示できるタイミングになりましたら、速やかにお知らせさせていただきます。

Q4: メディア売上の規模が増加しているが、なぜか。今後もこのスピードで伸びる見込みはあるのか。

A4: 直近5年のCAGRは24.7%、11期については前期比46.3%増となりました。

各IPでのグッズ販売が好調なほか、coly more!やcoly cafeなどの常設店の売上・利益ともに順調に伸長しており、リアルイベントや舞台等も好調に推移しております。

また、他社IPのグッズの企画・開発・販売や、ポップアップストア等の施策も非常に好調に推移しており、具体的な数字はお伝え出来ませんが、メディア事業の中でも高い成長率となっております。

今後も各IPで最適なメディア展開を行いながら、IPでの成長を目指してまいります。

また、他社IPのグッズやイベントについても引き続き幅広く展開してまいります。

Q5: 投資有価証券の内訳を説明してほしい。

A5: 投資有価証券については、安全性の高い投資信託等となります。

詳細は2025年4月28日リリースの有価証券報告書に記載しておりますので、そちらをご参照ください。

Q6:VR事業について、現況および展望がどのようになっているか、可能な限りの情報を株主に説明してほしい

A6:当社では、「新技術への対応」を重要な経営課題の一つと位置づけており、常に最新の情報を収集しながらしながら、社内での取り組みを検討しております。

VR事業につきましては、EX分野を見据えた展開に着手していきたいと考え、VRゲームを開発するMy Dearest株式会社に出資を行い、現在も定期的に情報交換をおこなっております。

現段階では、VRを含むさまざまな可能性のある領域を広く視野に入れつつ、関係各所との連携をしながら、業界動向に即した形で段階的に検討を進めてまいります。

今後も状況を注視しつつ、柔軟性を持った対応を心がけていくことで、技術の進展に伴う新たな価値を創出していきたいと考えております。

開示できるタイミングになりましたら、HP等にて開示いたします。

以上